



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No146号 2024.6.26

発行責任者
会長 山本静子
編集責任者
事務局長 上原栄
Tel.0773-22-7859

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところ—

第20回 活動を新しい風で 定期総会 6年度の活動等を決める

令和6年度のさくらの会 第20回 定期総会は、5月26日（日）午前10時から綾部市保健福祉センターで開かれました。参加者は22名。

総会は、事務局の進行で、山本静子会長の挨拶後、来賓の綾部市の障害者支援課相談支援担当 精神保健福祉士吉松正人様から励ましのこもった挨拶を受けました。



来賓吉松様

続いて、令和5年度の活動報告、会計報告、会計監査報告が承認されました。

その後、令和6年度の活動計画

（案）、予算（案）が事務局から提案され、満場一致で可決されました。

6年度の役員は、世話役の変更が承認されました。（役員名簿は、3ページ目）

午後の交流会には17名が参加して、年間行事等さくらの会の活動について等より楽しい内容になるように意見交換を行いました。



会長から できる人ができる事を

山本静子（会長）

日頃はさくらの会の活動にご支援、ご協力を頂きありがとうございます。

定期総会が無事に終わりました。交流を重ね、悩みを理解しあえる同志が集うことに、喜び楽しみをもつ仲間の輪が大きく広がって行く事を願っています。

若い会員さんにご協力をいただき、今後の運営も出来る人が、できることを探りな

（次ページへ）

(前ページから)

がら楽しい会にして行きましょう。きっと若い人たちが新風に吹かせてくれると思います。

参加者 夏の会がばれた の感想

水谷剛志

今回の定期総会は、今までの総会とは違い『当事者・家族・役員側』から質問が出て、それに答える【質疑応答】の場面が見られた総会でした。

問題となった課題にも、当日の参加者全員が一緒に考え、一緒に解決策を出しその

場で決定出来た事も大きな進歩だと感じました。

決算報告・予算作成案の決議など一通りの流れで無事に進行しましたが、今後の方針や方向性について課題が残る状態で終了した様に感じました。

交流会では、【年間行事の内容決め】の際に、当事者から《見える化にして欲しい》との声が出た事を嬉しく思いました。

私も同じ思いだったので、ホワイトボードに書き出して示す形を作れた事、場の空



気を一つに持つて行く事が、当事者・家族の皆さん方と一緒に出来た事を楽しく嬉しく思いました。

誰かが音頭を取って進めると、当事者達も【ハードルが下がった様に感じるのか】自然と会話の中に入ってくる事が出来る事も体感しました。

当事者自身がやってみたい事を口に出せる雰囲気を作る事が出来た交流会になって良かったなと感じました。

この様な雰囲気作りが大事だと感じました。

当事者のペースをベースに【物事の内容を話し合ったり、決めたりする事】が大事なのではないかと気付いた交流会でした。

参加者 各負担の無いよう の感想

高倉涼子

交流会では、自己紹介と近況報告の後、今後の活動内容について意見交換をしました。水谷さんが前に出て、ボードに分かりやすく意見をまとめられました。

次回7月の交流会は自由参加という形で、今後の活動計画を立てる事になりました。

会のあり方として、各々負担の無いように役割分担をしながら進めていく事で話がまとまりました。

参加者 迷惑をかけてもいい の感想

坂本由美

上原さんの体調不良により、今後の事務局をどうするか活発な意見が交わされました R6年度中に後任の方を探す方向で、

(次ページへ)

(前ページから)

今まで全ての事柄、細やかな配慮まで事務局でお世話になり 私達は実際お客さん状態だったと思います。

事務局を続ける負担の大きさや心配、全てを完璧に出来ない事により心労が更におきくなる奥様の限界も感じました

意見の中で『本人のやる気を尊重する』『迷惑をかけてもいい』という言葉がキーワードで、この問題だけでなく、私達すべての人にも当てはまる気もします。

迷惑をかけるというか、皆なで関わり合つていけたらと思いました。

会費未納の件も規約に追記して、いろいろな事がアップデートしていくらしいなあと思いました。

参加者の感想 できる者が動く

薮内江美

5月さくらの会の総会に初めて出席させて頂き、学校や自治会のようにきっちりしておられて想像以上でした。

午後の交流会も委員近況、気持ちや参考にする点を知れ、今後は支援者や役員の負担を分散して頂き、参加者で前準備や当日できる者が動くしくみに定着できればと感じました。

次は当事者である夫と参加できればと思っております。

【上原保子】
▼上手くいったら報告します【藤原勲】
▼上手くいったら報告します
▼私も処分ができない
▼この記事を編集しない
がら頭に浮かんだ自分としての基準
▼二年以上使つていな
い服や物品は思い切つ
て処分する
る間に。
、

【令和6年度 役員名簿】

会長	山本 静子
副会長	栗野 勝彦
世話役（綾部）	高倉 涼子
世話役（福知山）	坂本 由美
世話役（丹後）	西垣 実樹
世話役（丹後）	山添 敦子
世話役（南丹）	水谷 剛志

※脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション

京都実行委員会 委員 高橋 宏
当事者委員（オブザーバー） 水谷 剛志

顧問 田中 明

【支援会員】

事務局長	上原 榮
世話役・会計	片尾 収作
世話役（舞鶴・丹後）	上原 保子
世話役（便り担当）	大槻 節子
世話役・会計監査	藤原 勲
世話役・会計監査	上原 保子
世話役・会計監査	柴田 直美
世話役・会計監査	黒木 広宣

【令和6年度 活動計画】

7月28日 交流会
9月 交流会
11月 交流会
2月 サロン・さくら
新春交流会

【編集後記】

▼自分で判断し、動けることのありがたさを感じる今日この頃。
▼今まで自立して生きてできるのか不安も交錯している。
▼今、自分の生活環境を改善のため、少ししつ物の処分と移動している最中。
▼捨てるものばかりなのに、捨てられない、思い切りも大事。動ける間に。

交流会のお知らせ

月日：令和6年7月28日（日）

10時～16時

場所：綾部市保健福祉センター

※お弁当代は個人負担

交流会は、皆さんとフリートーク

1人で抱え込まないで、話すって大事ですね！
笑うって大事ですね！

情報を共有し、みんなで支え合い、動くって大事・・
失敗してもいいじゃない・・・
笑って、ごめんね。

お弁当は、参加者を確認して
から、当日、買いに行きます。

遅くとも、11時までには
お越しください。

下記の連絡先に参加の有無を
連絡下さい。

【連絡先】

大槻節子（舞鶴・丹後・南丹）	090-3624-4733
高倉涼子（綾部）	080-5327-6757
坂本由美（福知山）	090-7352-2523
水谷剛志（福知山）	090-7493-8001